

「東北アジア青銅文化比較研究」国際学術シンポジウム

このたび、岩手大学・河南省文物考古研究院・北京大学出土文献研究所・日本中国出土資料学会の共催で「東北アジア青銅文化比較研究」国際学術シンポジウムは、2019年12月14日～15日に岩手大学で開催されることとなりました。国内外の学者30名余りが集まり、東北アジア青銅文化研究を中心に、諸関連問題に議論を展開することとなります。本シンポジウムを下記により開催いたしますので、皆様奮ってご参加いただきますようお願いいたします。入場無料。

日時：令和元年12月14日(土)～15日(日)

会場：岩手大学教育学部北桐ホール

日程：

12月14日(六)10:00、開幕式。司会：藪 敏裕先生(岩手大学副学長)

挨拶：岩渕 明先生(岩手大学学長)

朱 鳳瀚先生(北京大学教授)

小寺 敦先生(日本中国出土資料学会副会長、東京大学教授)

楊 文勝先生(河南省文物考古研究院副院長)

10:20 記念撮影

10:30-12:00、基調講演

10:30-11:10 朱鳳瀚先生(北京大学教授)：漢以前の中國北方與歐亞草原

11:10-12:00 難波洋三先生(奈良文化財研究所客員研究員)：弥生時代における銅・鉄・朱の輸

入とその交換財

12:00-13:00 昼食

13:00-14:00 考古新発見成果発表

13:00-13:30 樊温泉先生(河南省文物考古研究院研究員)：近年河南地區兩周青銅器考古新発見

13:30-14:00 韓輝先生(山東省文物考古研究院副研究員)：近年山東地區商周青銅器考古新発見

研究発表：14:10-17:30、発表時間一人20分

一 考古および遺物班、9本。

二 古文字及び古文献班、9本。

12月15日(日) 研究発表 09:30-12:00

一 考古および遺物班、7本。

二 古文字及び古文献班、6本。

閉幕式。

【本件に関する問い合わせ先】 岩手大学平泉文化研究センター

〒020-8550

盛岡市上田三丁目 18-33

019-621-6529 E-mail ryukaiu@iwate-u.ac.jp